



A 2018.10.1/Vol.15
～ 芽吹く未来へ～
SSIST

社会福祉法人 萌葱の郷
自閉症総合支援センター・子育て総合支援センター

「ねこ」西尾 枝里



実践に学ぶ自閉症支援の原則

理事長 五十嵐 康 郎

障がいのある人もない人も共に暮らす理想郷をめざして、大学在学中に休学して「ひゅうまん運動」を立ち上げましたが、現実とのギャップから挫折し、現場からの出直しを決意して、1971年に日本初の知的障害児施設「滝乃川学園児童部」に就職し、重い知的障がいを伴う自閉症児に出会い、素朴でひたむきな自閉症の人たちに魅せられて、これまで自閉症支援に取り組んできました。

滝乃川学園に18年間勤めた後、理想的な自閉症支援を実現したいとの思いにかられ、1991年に自閉症者施設「めぶき園」を開設し27年が過ぎました。過ぎ去った47年をふり返ると、自閉症の人への支援から、通常では学べない貴重なことを学び、大きな喜びと生きがいを味わいました。萌葱の郷では幼児期から看取りまでのライフステージを通した総合的な支援体制の実現をめざしています。自閉症支援については、様々な意見や考え方がありますが、実践（利用者さん）から学んだ自閉症支援の原則を17箇条にまとめてみました。

- ① 施設を撤廃し、清潔で快適・安全な生活環境を提供する。
- ② ごく当たり前の生活（ノーマライゼーション）と個別的な配慮を保障する。
- ③ 手ごたえの持てる活動や外出の機会を通して社会性や意思決定を育む。
- ④ 愛情をもって、投げ出さない。(真のサポーターは決して見放さない)
- ⑤ 個別支援計画に基づいて、余裕のある日課（ルーチン）を組み立てる。
- ⑥ 遊び、生活、活動等での相互作用を通して、他者意識や共感性を育てる。
- ⑦ 特定の療育理論や技法に囚われるのではなく、幅広く学んで実際の場面で応用する。
- ⑧ 行動の現象面だけを捉えるのではなく、環境や心理面での原因や背景を考察する。
- ⑨ 支援にあたっては、記録→分析→仮説→実践→検証を繰り返す。
- ⑩ 職員の勤務負担の軽減を図り、過労やメンタルに配慮する。
- ⑪ スーパーバイザーの元で事例検討を重ねて支援方法を統一し、チームで支援する。
- ⑫ 自傷行為や他傷行為、破壊行為は当事者のためにならないことを伝えて止める。
- ⑬ 対応しない（無視する）ことは行動障害をエスカレートさせる場合があることに留意する。
- ⑭ 職員自身の感情をコントロールし、穏やかで肯定的な態度で接する。
- ⑮ 利用者の立場に立って、自らの支援を振り返る。
- ⑯ 丁寧に説明するなど、折り合いがつけられるように関わる。
- ⑰ 医療と連携し、脳科学や神経生理学の新たな知見に学ぶ。

こうしてみると、当たり前のことばかりですが、当たり前のことを当たり前に行うことの難しさを痛感します。自閉症療育に限らず、人を育てることにハウツーや特効薬はありません。我が国の自閉症療育の先駆者の石井哲夫先生（故人）は「自閉症療育とは丁寧な保育をすること」と看破していますが、至極名言であり、真理だと思います。

キャリアパス研修の取り組みについて

研修委員会 委員長 秋月正博

今、法人全体として求められているのはどういう研修なのだろうか？今年で法人内の研修担当となって5年目ですが常々考えます。昨年度は21人の新たな仲間を加え、今年度は24人の新職員が入職しました。このような現状を踏まえ委員会の中では、新しく入った職員が仕事をする上で働きやすくなるための研修を企画することに力を入れています。萌葱の郷は自閉症総合支援センター・子育て総合支援センターとして事業を行っており、職員は発達障がいに関する専門性が求められます。新卒の職員に対し、いきなり専門家になることを求めているわけではありません。まずは、仕事内容や環境に慣れ、目の前の仕事に真摯に向き合い、少しずつ知識や支援のノウハウを身に付けていくことを目指し、法人の理念や事業所ごとの今後の展望、自閉症・発達障がいに関する基礎知識、緊急時の対処法、接遇マナーなど様々な研修を企画してきました。

しかし、全ての職員が滞りなく研修に参加できているのかの総体的なチェックや研修プログラムの体系化はなく、研修に参加していく職員に差が出たり、研修内容についてもばらつきが感じられた折に、五十嵐猛センター長のノースカロライナ州へのTEACCH視察研修の報告を聞き、研修について細かくプログラムを体系化している取り組みについて学びました。その取り組みを参考にしながら職員にとって、より見通しが持てる研修プログラムを作成したいという思いで、試行錯誤の上、2018年度より「キャリアパス研修」という名称で研修制度を開始しました。職員に身に付けて欲しい知識を念頭に置いており、開始から3年以内に全ての講義を受講するようにしています。また講義に参加するだけでなく、報告書を提出することで受講したことを認めるようにしています。今後も研修委員会では、職員のスキルアップのため様々な研修を企画し、より良い支援が行き届くよう尽力してまいります。

社会福祉法人萌葱の郷キャリアパス研修受講証
ベーシックコース（2018年～2020年）

2018年4月1日

所属事業所
氏名

研修内容	講師	日時	場所	研修参加状況
1 萌葱の郷の理念・これまでの歩み・展望について				
2 英語でオーソニック（マナー・挨拶・電話対応）				
3 業務の順の業務内容について				
4 自閉症・発達障がいの基礎知識の理解について				
5 各務的配慮について				
6 てんのかについて				
7 11g（発達障がいの職業について）（オンライン受講・録音・録画・実演）				
8 AED・救急法				
9 業務報告・事務発表				

各事業所にて研修または研修委員にて全従業員に講義を完了

□受講証をもらったら原則3年以内に修了をしてください。
□講義に参加し、修了書を提出したら、各事業所の管理者に提出してください。その際に管理者より受講証に捺印をお願いします。受講証は本人で保管してください。
□受講証用紙部分が全て埋まりましたら、必ず受講事業所へ提出してください。
□受講証は手元にコピーを保管するようにしてください。
□2018年度よりスタートなので、2018年度は受講履歴にありません。
□ご不明な点は各事業所の研修委員にご確認ください。

キャリアパス研修受講証



萌葱の郷 チャンネルのご紹介

YouTubelに萌葱の郷チャンネルを開設しました。今後、様々なイベントや紹介映像などをアップロードしていく予定です。是非、チャンネル登録をよろしくお願ひします。萌葱の郷ホームページ左下に萌葱の郷チャンネルへのリンクがありますので、ご活用下さい。

萌葱の郷チャンネル
チャンネル登録者数 12人

アップロード済み

- 萌葱の郷ch 理事長講話
視聴回数 86回・4か月前
- 萌葱の郷ch アトリエMOE at 大分県立美術館
視聴回数 64回・4か月前
- 萌葱の郷ch めぶき園の一日
視聴回数 169回・4か月前
- 萌葱の郷ch 障がい者就労支援施設 どんこの里 台風18号被害からの復旧
視聴回数 111回・4か月前

http://moeginosato.net/

豊後大野子育て総合支援センター

社会福祉法人 萌葱の郷の理念

萌葱の郷は、自閉症総合支援センターとして、ライフステージを通じて早期療育、発達支援、就労支援、余暇支援、相談支援、普及啓発、専門家育成等の機能を総合的に提供するとともに、子育て総合支援センターとして、教育・保育・発達支援・保護者支援を一体的に運営することで障がいの有無に関わらず誰もが安心して暮らすことのできる共生社会の実現を目指しています。



豊後大野子育て総合支援センター（子育て支援のユニヴァーサルセンター）

豊後大野子育て総合支援センターでは、幼保連携型認定こども園、地域子育て支援拠点事業、児童発達支援センター、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援事業を同一敷地内にて一体的に運営していることから、その地域に暮らしている全ての乳幼児と家族に対して障がいの有無に関わらず、乳幼児期から小学校への接続を連続的、且つ、子ども一人ひとりの月齢と生活環境や器質的な特性を配慮した教育保育を一体的に進めることができています。

さらに、今年度からは「子育て支援センターゆうゆうキッズ」を「児童発達支援センターなかよしひろば」と「幼保連携型認定こども園いぬかいこども園」の間にある旧介護支援センターに移動して「相談支援事業所プラス」を加えたことにより、子育て家庭全般に向けた相談支援体制の充実を一層に図ることができています。

豊後大野子育て総合支援センターの利点・効果

①障がいの有無に関わらず、乳幼児期から就学に向けた教育・保育・発達支援・保護者支援をワンストップで受けられるとともに、保育所等訪問支援や放課後等デイサービスなどを利用することによって、小学校への入学後も継続的に支援を届けやすい。

- | | | |
|-------|------------------------------|--|
| * 就学前 | 子育て支援センター
こども園
なかよしひろば | → こども園・なかよしひろばの利用
→ 子育て支援センター・なかよしひろば利用
→ 子育て支援センター・こども園・保育所等訪問支援事業の利用 |
| * 就学後 | なかよしひろば | → 放課後等デイサービス・保育所等訪問支援事業の利用 |

いぬかい子育て支援センター



なかよしひろばの臨床心理士さんを囲んでの子育て座談会。

「乳幼児期の心の育ちと関わり方」やインリアル法の紹介等、年2回開催しています。



なかよしひろばやこども園の利用後も、たくさんの親子で賑わいます。

②児童発達支援センターがこども園に隣接しているため、両事業所に子どもの籍を置くことで保護者の都合に合わせて児童発達支援センターで個別の発達支援を受けたり、相談や母子通園等ができています。



日中の児童発達支援センターを利用する時間帯は、児童発達支援センターの職員が保護者の代わりに児童をこども園まで送り迎えます。

こども園の延長保育も利用すれば、保護者がフルタイムで働いていても朝夕のこども園への送り迎えだけで児童発達支援センターを利用することができます。



③児童発達支援センターがこども園と一体的に運営しているため、子どもの様子や家族の意思、こども園の行事等にに合わせて利用日数や時間等の選択を行いやすい。

④児童発達支援センターがこども園に隣接しているため、職員が子ども一人ひとりの支援計画や経過等の情報共有をすすめる。また、合同研修や保育所等訪問支援事業以外でも日常的に報告や連絡、相談を行いやすい。

⑤児童発達支援センターがこども園や子育て支援センターに隣接しているため、児童発達支援センターのハードルが下がって利用しやすくなった。また、児童発達支援センターやこども園の利用後に親子で子育て支援センターを利用することで、保護者間の情報交換やピアサポートも自然に行われている。

⑥相談支援事業所プラスが加わったことにより子育て家庭の身近な疑問の解決方法や関係機関をつなぐネットワークの幅が広がった。また、利用計画やモニタリング、担当者会議等の段取りが持ちやすくなったことから、こども園と児童発達支援センターとの連携もすすんでいる。



ケース会議や事例検討会、保育経過記録の読み込みなどを合同で行うことによって、子ども一人ひとりへの共通理解を深めています。



いぬかいこども園

幼保連携型認定こども園の幼稚園機能と保育園機能に加えて児童発達支援センターが隣接していることから、幅広いニーズに応じる教育保育環境が整っており、それが利用児童や保護者のみならず、職員の働きやすさにもつながっています。保育士不足と言われている中、職員の離職もないまま順調に運営できている新たなモデルとして、毎年多くの見学者が訪れています。



なかよしひろば

同一敷地内に認定こども園や子育て支援センターを併設していることから、障がいの有無に関わらず子どもの発達を最大限保障するために地域の子育て家庭の不安や子どもの発達に関する悩み、関係諸機関における困りなどの相談を多角的に応じる専門性を高めており、毎年多くの研修生が訪れています。

わたしの療育論『チームだからこそできる支援』

こども発達支援センター大分なごみ園

支援課長 五十嵐 康 子



私は、社会福祉法人萌葱の郷に勤めて今年で9年目になります。どんこの里いぬかい、いぬかい保育園（子育て支援センター）、なかよしひろば、そして現在の大分なごみ園と、いろいろな現場を通して大切に感じてきたチーム支援について述べさせていただきます。

私が大切にしていることは、職員同士が子どもの気持ちを代弁しあうことです。言葉がまだないお子さん、お話はできるけれども、自分の気持ちをうまく言葉にできなかつたり、いざ言おうとしても、恥ずかしかったり、言葉の選択ができなくて誤解を受けてしまう等、子どもは言葉にいろいろな困りを抱えています。そこで、私たちが子どもの言葉にできない気持ちを受け止めて代弁をしたり、人に伝わりやすい言葉を使ってみせるようなモデルを示すことで、子どもたちが「こんな風に言えば相手にうまく伝わるんだ、自分の困っている状況を変えられるんだ」ということに気付き、だんだんと人に気持ちを言い表したり、友達との関わりが上手になっていける姿を見てきました。また、代弁を通して「先生は自分の気持ちをわかってくれる人」という意識が深まり、私や他のお友達にも興味を抱いてくれたり、お願いや提示にも応じてくれるようになるなど、心が通じ合っていく喜びを感じたことも少なくありません。

具体的な対応例では、A君が使っている玩具を手放して、B君が黙って取ってトラブルになるような時、私たちはA君についている職員（C職員）が「僕が使っていたんだ、取らないで」とA君の代わりにB君に伝えます。次に、その言葉を受けたB君について職員（D職員）も「置いてあったから使っているのかと思ったんだ」と返します。続けて、C職員「勝手に取られたら嫌な気持ちになっちゃうな」、D職員「じゃあ、貸してって言ったら貸してくれるの?」、C職員「使ってるから、まだ駄目だよ」、D職員「じゃあ、どのくらい待ったら貸してくれる?」など、子どもの表情やしぐさ、サインなどを読み取りながら職員同士がタイムリーに代弁し合うことで、子ども達に会話することを学んでもらいます。こうした配慮を積み重ねていく先には、学校や幼稚園等の集団場面で、子どもが自分の気持ちや相手の気持ちに折り合いをつけながら馴染んでいくことをねらいとしており、訪問支援等を通した移行支援にも力を入れています。

また、職員間で役割を意識しながら関わることも大切にしています。例えば、子どもが遊んでいる時に、「そろそろお片付けの時間だよ」と声をかけても、なかなか遊びから切り替えがつきにくい様子が見られた場合、場面転換に向けてスケジュールの提示や音楽を流すなどの環境構成を用意することはもちろんですが、私たちは、それだけではなく、人との会話を通した気持ちの切り替え支援も大切にしています。具体的には、状況を提示する職員（E職員）が「お片付けだよ。」とその子に声を掛けます。そこで、子どもについていた職員（F職員）が「僕はまだ遊びたい」と、子どもの気持ちを代弁します。次にE職員が「そうか、まだ途中なんだ。教えてくれてありがとう」と伝えてから、「じゃあ、活動が始まるまでに終わらせて来てね」と、子どもの状況に合わせた提示内容にあらためます。それを聞いたF職員が「言ってみてよかったね。じゃあ、活動が始まるまでに終わらせよう」と、気持ちの切り替えに向けた状況整理を支援することで、子どもが状況と自分の気持ちとの折り合いをつけながら活動に参加できるようになっていきます。しかし、こうした場面で職員が子どもの気持ちや役割を意識しないまま、次々と「お片付けだよ」とだけ言葉かけをしていたら、子どもはどんな気持ちになるでしょうか? もしかすると、気持ちの整理がつかないまま活動に参加したくなくなるかもしれません。

このように、子どもの気持ちに寄り添った丁寧な支援とは、療育の場面だけでなく、保育場面でも同様に求められているように感じています。しかし、職員の意識もありますが、クラスが一人担任であったり、役割分担ができる支援環境も整っていないと、コミュニケーションに特別な配慮や支援を必要としている子どもへの発達を保障することができにくいものと思います。今、私が勤めている児童発達支援センターでは、職員一人ひとりが主観に捉われないですむように、全職員がチームとして支援をしやすい環境が整えられています。チームであるからこそ、自分の対応を振り返りながら「あのときには、もっと言葉かけを短くしておけばよかった」「次の場面では、もっと具体的な言葉に代えよう」などと、日々のカンファレンスを通して子どもへの共通理解と支援の方向性を確認することができています。今後は、こうしたチームによる支援を大分市内でも保育所等を巡回しながらバックアップをすすめていきたいと思っています。

2017年度 会計処理等取扱指導指針

(単位：円)

		資 産 の 部		負 債 の 部	
		流 動 資 産	固 定 資 産	流 動 負 債	固 定 負 債
貸借対照表		256,154,984		49,030,118	
		1,174,669,779		380,023,568	
				負債の部合計	429,053,686
				純資産の部	
				基本金	56,415,470
				国庫補助金等特別積立金	244,317,373
				その他の積立金	0
			次期繰越活動収支差額	701,038,234	
			純資産の部合計	1,001,771,077	
	資産の部合計	1,430,824,763		負債及び純資産の部合計	1,430,824,763
資金収支計算書			決 算		
	就労事業による収支	収 入		22,711,567	
		支 出		18,185,250	
		就労事業資金収支差額		4,526,317	
	事業活動による収支	収 入		753,259,758	
		支 出		671,451,006	
		事業活動資金収支差額		81,808,752	
	施設整備等による収支	収 入		335,864,037	
		支 出		390,184,157	
		施設整備資金収支差額		- 54,320,120	
	その他の活動による収支	収 入		0	
		支 出		15,387,569	
施設整備資金収支差額			- 15,387,569		
当期資金収支差額合計			16,627,380		
前期末支払資金残高			220,452,362		
当期末支払資金残高			237,079,742		
事業活動計算書	勘定科目		決 算		
	就労支援事業収益		22,711,567		
	就労支援事業費用		18,173,475		
	就労支援事業増減差額		4,538,092		
	サービス活動増減収益		744,564,260		
	サービス活動増減費用		712,163,826		
	サービス活動増減差額		32,400,434		
	サービス活動外増減収益		8,695,498		
	サービス活動外増減費用		1,487,924		
	サービス活動外増減差額		7,207,574		
	経常増減差額		44,146,100		
	特別増減収益		138,014,037		
	特別増減費用		160,693,425		
	特別増減差額		- 22,679,388		
	当期活動増減差額		21,466,712		
	前期繰越活動増減差額		679,571,522		
	当期末繰越活動増減差額		701,038,234		
その他の積立金取崩額		0			
その他の積立金積立額		0			
次期繰越活動増減差額		701,038,234			
財産目録	流動資産	現金	135,380,500		
		未収金	114,943,597		
		商品・製品	69,124		
		立替	1,372,737		
		前払費用	592,179		
		短期貸付金	0		
		その他の流動資産	3,796,847		
		合計	256,154,984		
		基本財産	建物	419,419,935	
			土地	257,219,675	
	預金		0		
	その他の基本財産		0		
	合計		676,639,610		
	固定資産		建物	79,657,885	
			構築物	32,769,323	
			車両運搬具	17,324,183	
			器具および備品	29,869,282	
			土地	12,764,722	
		機械・装置	4,649,336		
		建設仮勘定	274,846,200		
		退職共済預け金	39,515,568		
		リサイクル預託金	160,360		
		権利・保証金等預け金	493,640		
	その他の固定資産	5,979,670			
	合計	498,030,169			
	資産の部合計		1,430,824,763		
	流動負債	短期運営資金借入金	30,024,000		
未払金		18,838,566			
預り金		2,552			
その他の流動負債		165,000			
合計		49,030,118			
固定負債		長期設備等借入金	340,508,000		
		退職給与引当金	39,515,568		
	その他の固定負債	0			
	合計	380,023,568			
負債の部合計		429,053,686			

自閉症の世界へ ようこそ

障がい者施設アート作品展

日時 平成30年10月7日(日)～10月12日(金)
場所 九州電力(株) 大分支社 本館1階 Qでん広場
住所 大分県大分市金池町2丁目3番4号

美りの里の芸術祭

日時 平成30年10月30日(火)～11月18日(日)
場所 エトピアおおの
住所 大分県豊後大野市三重町内田878番地

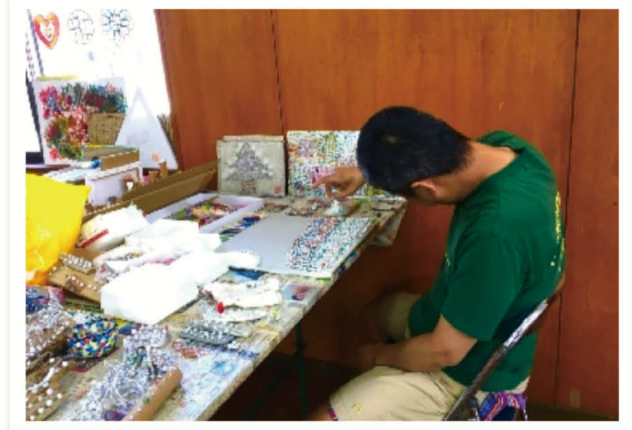
省 吾 連

日時 平成30年11月17日(土)～11月25日(日)
場所 大分市美術館
住所 大分市大字上野865番地

問い合わせ先 社会福祉法人 萌葱の郷 めぶき園
担当：能一 / TEL：097-578-0818

萌葱の郷は、自閉症総合支援センターとして、本人の人生や生きがいを尊重し、自閉症の人たちの特性を生かした創作活動に取り組んでいます。

国民文化祭関連行事として大分県内で展示を行っていますので、ぜひこの機会に彼らの内的世界に触れてみてください。



協力者 御芳名

- 中村 和美 様 ● 石井 啓 様 ● 大久保損害保険事務所 様 ● 有限会社 久保平自動車 様
- 有限会社 愛石油 様 ● 株式会社 柴田産業 様 ● 久保平 明 様 ● 伊美 信長 様
- 秦 正也 様 ● 高橋歯科医院 様 ● 橋本 謙二 様 ● 高松 昌弘 様
- 堀内 桂輔 様 ● 下の原自治会長 坂田 雄治 様

豊後大野市

障害者支援施設 **めぶき園** (法人本部)
大分県豊後大野市犬飼町下津尾4355-10
TEL 097-578-0818
FAX 097-578-0819
mebukien@moeginosato.net

いぬかいこども園

大分県豊後大野市犬飼町田原1419番地
TEL 097-578-0706
FAX 097-578-0710
inukai-hoikuen@moeginosato.net

ホームヘルプサービスセンター **らすかる**
大分県豊後大野市犬飼町下津尾4355-10
TEL 097-578-1888
FAX 097-578-0819
rasukaru@moeginosato.net

いぬかい子育て支援センター

ゆうゆうキッズ
大分県豊後大野市犬飼町田原1416番地1
TEL 097-578-0188
FAX 097-578-0166
youyoukids@moeginosato.net

障がい福祉サービス事業所 どんこの里いぬかい

大分県豊後大野市犬飼町久原1863番地8
TEL 097-578-0077
FAX 097-578-1226
donko@moeginosato.net

相談支援事業所 **プラス**

大分県豊後大野市犬飼町田原1416番地1
TEL 097-578-0188
FAX 097-578-0166
plus@moeginosato.net

グループホーム **かわしま**

大分県豊後大野市犬飼町下津尾3706-8
TEL 097-578-0885

こども発達・子育て支援センター

なかよしひろば
大分県豊後大野市犬飼町田原1414番地1
TEL 097-586-8811
FAX 097-586-8818
nakayoshi@moeginosato.net

ライフサポートセンター **なごみ園**

大分県豊後大野市犬飼町大寒2149番地1
TEL 097-586-8070
FAX 097-586-8071
nagomi@moeginosato.net

いぬかいこども園 **なかよしホール**

大分県豊後大野市犬飼町田原1421-40

大分市

こども発達支援センター **大分なごみ園**

大分県大分市丹生210-3
TEL 097-524-3636
FAX 097-524-3637
oitanagomien@moeginosato.net

大分県発達障がい者支援センター **ECOAL**

大分県大分市中島5丁1丁目4番14号 市民の権利ビル202
TEL 097-513-1880
FAX 097-513-1890
ecoal@moeginosato.net

こざい保育園

大分県大分市大字屋山1658-6
TEL 097-528-9900
FAX 097-528-9911
kozai@moeginosato.net

戸次なごみ園

大分県大分市中戸次4454-1
TEL 097-578-8323
FAX 097-578-8324
hetsuginagomi@moeginosato.net

『がんばるもん』 のお知らせ

今年も平成30年11月3日(土・祝)に『もえぎの郷地域交流祭がんばるもん』を開催する運びとなりました。昨年はヒーローショーも好評で来場人数は500名以上となりました。

今年も皆様を楽しめるようなイベントを準備していますので、お誘い合わせの上ご来場いただきますようお願い申し上げます。

編集後記

西日本豪雨災害をはじめ各地で被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。1日も早い復旧を願うと共に、私たち職員もいつ災害が起きてもしっかり対応できるよう防犯・防災の研修を受講し備えていきたいと思っております。

今回で15号目となりましたアシストも4月より3名の新しい広報委員が加わりました。計12名で試行錯誤しながら良いものを作り上げていきますので、今後ともよろしくお願い致します。

発行者：社会福祉法人 萌葱の郷
大分県豊後大野市犬飼町下津尾4355-10
TEL 097-578-0818
印刷所：株式会社 エポックアート